水俣の環境モデル都市づくり

～ゼロ・ウェイスト達成に向けて～

水俣市　環境モデル都市推進課

九州の中南部地方

熊本県の最南端に位置

面積　約163㎢

人口　約28，000人

世帯　約12，000世帯

水俣市の概要

水俣川が一本の水系で完結する、海、山、川を持つ自然豊かな地方小都市

環境モデル都市水俣　取組の全体像

A 環境配慮型暮らしの実践

・ゼロウェイストに向けたごみ減量・高度分別の実施
・環境ＩＳＯのまちづくりの推進
・コミュニティバスと自転車のまちづくりの推進　など

B 環境にこだわった産業づくり

・地域資源を活用したバイオマスエネルギーの創出
・安心安全な農林水産物づくり
・第２次エコ産業団地の開発　など

市民
行政
企業

統合的に協働で推進

C 自然と共生する環境保全型都市づくり

・新エネルギー、自然エネルギーの積極的活用
・市民による森づくり・海の再生
・エコハウス集落づくり　など

D 環境学習都市づくり

・みなまた環境大学・環境塾の開催
・村丸ごと生活博物館の拡充
・国際環境協力事業　など

低炭素社会の実現 ⟺ 地域の活力創出
環境と経済が調和した持続可能な地域社会の形成

ゼロ・ウェイスト達成への取組

1ゼロ・ウェイスト宣言とロードマップ作成

＊ごみの埋立・焼却をやめるゼロ・ウェイストの目標設定・宣言（公表）

＊目標達成に向けた工程表（ロードマップ）の作成

2新たな分別・3Rの促進と徹底

＊ごみステーション調査、ごみ組成調査の実施・分析　→分別の徹底化

＊新たな分別・リサイクルの推進
　小型電子機器→レアメタル、廃食油→BDF製造、草木類→資源化

＊リサイクルからリユース、リデュースに向けた取組
　リユースびんの使用促進、マイマイ運動（マイ箸、マイ水筒の使用）

3ライフスタイル、意識の変革

＊市民講座、地域での出前講座、市報等による普及啓発

＊マイバッグ持参運動（レジ袋の削減／有料化）

＊給茶スポット設置　→使い捨て容器抑制、水俣茶の販売促進、イベント展開

ゼロ・ウェイストに向けた課題と対策
課　題
・目標に向けた資源化率向上や
３R促進をどう達成していくか
・地域を越える法的な問題など
にいかに対処するか
・地域経済の活性化（グリーン・
エコノミー）にどう結びつけるか
考えられる対策
・市民や企業など多様な主体の
参加と緊密な連携を図る
・意識とライフスタイルの変革を
促す有効な手段の実施
・ゼロ・ウェイスト自治体との連携
・給茶スポット設置など特産品や
地域イベントとの組合せ展開